

厳原本川水系厳原本川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1. 説明文

- (1)この図は、厳原本川水系厳原本川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2)この洪水浸水想定区域図は、指定時点の厳原本川の河道（及び洪水調節施設）の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により厳原本川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※注）水位周知区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。


2. 基本事項等

- | | |
|----------------|---|
| (1)作成主体 | 長崎県対馬振興局 |
| (2)指定年月日 | 令和元年6月7日 |
| (3)告示番号 | 長崎県告示第59号 |
| (4)指定の根拠法令 | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項 |
| (5)対象となる水位周知河川 | ・厳原本川水系厳原本川（実施区間）
左岸：長崎県対馬市厳原本町宮谷馬場崎橋から海まで
右岸：長崎県対馬市厳原本町宮谷馬場崎橋から海まで |
| (6)指定の前提となる降雨 | 流域全体に12時間総雨量952mm、ピーク時の1時間に214mmの降雨がある場合 |
| (7)関係市町村 | 対馬市 |

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域

 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

0 100 200 400 m